

活動報告 研修旅行 豊岡視察

2022 年 7 月 7 日～10 日（会員 4 名参加）

江原河畔劇場『ソウル市民』観劇

7 月 7 日（木）18:30～20:00（90分）



『ソウル市民』は、日本の韓国併合前夜、ソウル（当時の漢城）に暮らす日本人の一日を淡々と描写した作品だ。初演は劇団創設 6 年後の 89 年。「それまでの戯曲は、悪い軍人や政治家に庶民は虐げられている—という弱者の視点で描かれていた。植民地支配の本当の怖さをあぶり出すには、虫眼鏡ではなく顕微鏡のような新しいレンズ、リアルさが必要だった」と平田。（朝日新聞 2018 年 11 月 2 日より）

私がソウル市民を初めて観たのは 2018 年 10 月でこの新聞の記事が出たころ。何気ない会話の中の差別や偏見が、今回は前回観たときよりも際立って思えた。次に観るときはどんな感覚になるのか、楽しみになった。

ロビーにオリザさんが 16 歳で
世界 1 周した自転車が展示してあった！

平田オリザさんとの懇談

7 月 8 日（金）9:00～9:45（45分）

場所：江原河畔劇場 2 F 稽古場

オリザさんはいつも事前に送ったメールに目を通していている。どの人にも変わらぬ真摯な態度と誠実さに感謝の念を覚える。えんげき広場 cue の経過を報告し、これからの計画について相談した。

宝塚市でも全校実施する。自治体が演劇コミュニケーション授業を導入するときは『転校生』が入りやすいこと。導入するための目的が大事で、宝塚市は貧困・文化資本の格差への対策、豊岡市は不登校対策であると教えてくれた。筑紫野市も不登校が年々増えており、小学校は 1 クラスで 6 年間過ごした子どもたちが、700 人規模の中学校に行く地域に不登校が多い。『不登校対策』として教育委員会に働きかけていこうと思った。



豊岡市教育委員会訪問

7 月 8 日（金）11:00～12:30（90分）



豊岡市教育委員会こども教育課参事兼教育研修センター所長の森山健二さんが、36 枚のスライドを使いながら説明をしてくださった。豊岡市には 25 の小学校（4,030 人）、9 つの中学校（2,043 人）があり、小学校 6 年生と中学校 1 年生で演劇コミュニケーション授業に取り組んでいる。演劇ワークショップは、表現形態が多様で、活動が自由であり、楽しみながら活動できる。行った調査では、すべての調査項目で演劇ワークショップの後にプラスの変化があった。（森山さんの話より抜粋）

豊岡市の小学校の校庭には緑鮮やかな芝生が敷き詰められ
子どもたちが大切にされていると感じました。



豊岡小学校鳥居校長との懇談

7月8日 13:00～15:00 (120分)

場所：豊岡小学校

オリザさんの教育の話をして初めて聞いた時に、管理職は夢中になって聞いた。コミュニケーション能力は必要だよ、とストンと落ちた。具体的に子ども達のコミュニケーション能力をどう高めていくか、と考えて、まずは市内4つのブロックに1つずつモデル校を作り、オリザさんに来てもらい授業をしてもらった。それから全市で展開する際には、何年生でどの程度、国のカリキュラムに則ってやっていくか。それから小中一貫教育にシフトしていった。しかしシステムはあくまでシステムであり、人の魂が宿ってはじめて動く。プランとして動き始めたら、私は校長として自分の学校の子どもの様子を見ながら進めてやっていく。(鳥居校長の話より抜粋)

「子どもが2、3時間も思索を続ける。あの事実を見たら、反応しないのは教師じゃない。」との言葉が心に深く残った。



前豊岡市長中貝宗治さんとの懇談

7月9日(土) 16:00～17:30 (90分)

場所：豊岡アートアクション

「コミュニケーション能力がなぜ大切なのか」「なぜ演劇でコミュニケーション能力が身につくのか」の答えとして、これから子どもたちはさらに多様な世界で生きていくスキルが必要、この多様な世界では異なる人々が喧嘩するのではなく、みんな力で合わせて、対等な者同士が力を合わせて生きていくことが必要であり、子どもたちには不可欠の能力である。2014年度に2つの小学校で行ったオリザさんのワークショップから始まり、2017年度から実施している調査を示し、議会でも演劇教育を継続することが承認された。

演劇教育を支援する予算は、年間200～300万程度で、ふるさと納税による収入だけでも1億円あり、(半分は返礼品にかかっても)市の予算で十分賄える金額である。(中貝さんの話より抜粋)



芸術文化観光専門職大学訪問

7月10日(日) 13:15～14:00

学長であるオリザさんに、大学を案内していただいた。

正面玄関に入ってすぐの木で作られた階段は、ロビーで公演などする際は客席となるそうだ。本格的な音響設備も整った巨大なスタジオ、楽屋や大道具を製作する部屋、学生が集うラウンジなどなど、ここで学ぶ学生が心底うらやましくなる特別な空間だった。

姫路城観光

世界文化遺産・国宝姫路城。豊岡視察の前に日本一の名城とも言われる姫路城に立ち寄った。ガイドのおじさんに声をかけられて、この城の作りや戦い方などいろいろと教えてもらい学びも深まり、幸先の良い旅の始まりとなった。

